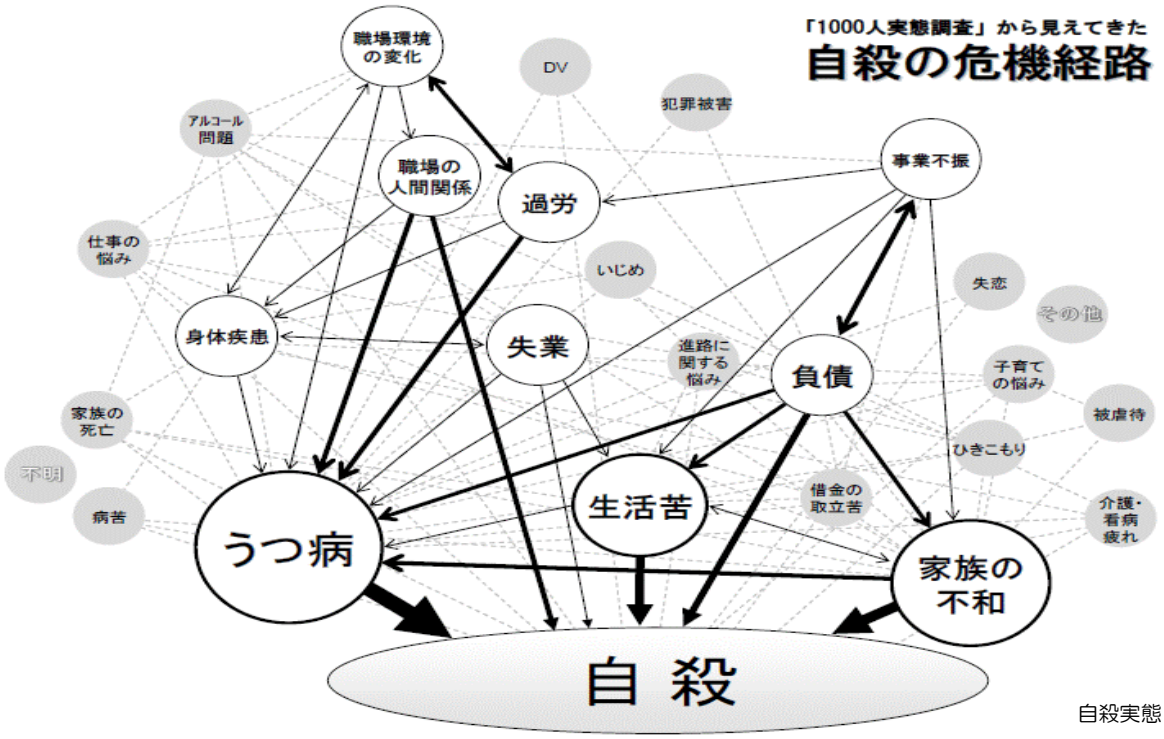
三原市における自殺対策の取り組み

【自殺に至るまでの要因】



自殺実態白書 2008

自殺実態白書によると，身近な問題が出発点となり，解決されないまま重なっていき，自殺に至ることがあると言われています。自殺時に抱えていた機器要因の数は一人あたり平均４つであったと言われています。

ひとつひとつを早いうちに解決できる必要です。

●ゲートキーパー養成研修

つぎの４つの役割をする人を「ゲートキーパー」と呼びます。

三原市保健福祉課では，こころの健康づくりをテーマとした出前講座の中で，ゲートキーパーの養成研修を行っています。

気づき	家族や仲間の変化に気づいて声をかける
傾聴	本人の気持ちを尊重し、耳を傾ける
つなぎ	早めに専門機関に相談するよう促す
見守り	温かく寄り添いながら，じっくりと見守る

●自殺予防についての講座

講師を招き，講座を開催しています。詳しい日程等は広報みはらをご覧ください。